

な環境で 首脳を出迎えよう



洞爺湖畔を清掃する住民の皆さん

観光シーズンを前にして、各団体によって毎年行われて

今年初めての町内一斉清掃実施

いよいよ北海道洞爺湖サミット開催が近づいてきました。毎年観光シーズン前のこの季節に、町や各団体により町内清掃を行ってきましたが、今年はサミット前ということもあり、各国首脳を気持ちよく出迎えようと清掃や花壇の整備が連続して行われ、その体制を整えてきています。4月に行われた、様々な環境整備の取組みを紹介し、サミットの成功を町民全体で下支えしていきたいと思っています。



袋いっぱいにゴミを拾う地域の皆さん

きた清掃活動を、今年は、サミット推進町民会議環境美化部会の呼びかけで、4月20日に町民が総出で町内一斉清掃が行われました。朝7時から、各自治会や職場ごとに家の回りや幹線道路、洞爺湖畔などのゴミや空き缶拾いに汗を流しました。

サミット協力北電グループ 洞爺湖清掃ボランティア

町内一斉清掃を行った4月20日、北海道洞爺湖サミットに協力しようと、北電グループの社員と家族63人が参加して、洞爺湖畔や彫刻の清掃を行いました。万世閣から天翔までの間にある街灯も高所作業車を使って、汚れを拭き落しました。



街灯清掃を行う北電グループの皆さん

MOVE洞爺湖 今年も活動実施 若者や家族で湖畔清掃

2000年有珠山噴火後からゴールデンウィークの恒例イベントとなっている「MOVE洞爺湖2008」(FM北海道主催)が、今年も大型連休2日目の4月27日、洞爺湖畔を中心に、清掃活動や花の植栽活動を行いました。

札幌を中心に若者や家族連れが約3000人参加。洞爺地区、中島、彫刻、花の植栽の4つのグループに分かれ、ゴミや空き缶拾いに取り組みました。花は、温泉街の4カ所にパンジー約七千株、ビオラ約三千の合計一万株を植えました。